

<目的>
相対的貧困状態にある子どもの割合、貧困を引き起こす要因（親の非正規雇用、低賃金、病気、離婚、家庭内暴力など）とともに、生活の様々な側面における欠落（剥奪）状況、学業・教育、心身の健康、将来の希望等への影響の状況を把握することにより、相対的貧困状態にある子どもの現状と課題を明らかにして、子どもの貧困対策計画における施策立案を検討します。

※「独自」と表記がある設問は、国が参考にする調査案「子供の生活状況調査」にない、追加した設問です。 ↓

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討
子どもとの続柄	1	お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまるもの1つに○）	1. 母親（義母も含む） 2. 父親（義父も含む） 3. 祖父母 4. その他（ ）		【目的】回答者が子どもの保護者としてどのような立場にあるか（実親、養育者など）を把握 【仮説】続柄によって子どもの養育環境や家庭内の関係性が異なる可能性 【検討】回答内容を適切に分析するための前提情報
地域区分	2	あなたがお住まいの小学校の学区を教えてください。（あてはまるもの1つに○）	1. 金勝小学校 2. 油田小学校 3. 油田東小学校 4. 油田西小学校 5. 葉山小学校 6. 葉山東小学校 7. 大宝小学校 8. 大宝東小学校 9. 大宝西小学校	独自	【目的】地域ごとの子どもの貧困状況を把握 【仮説】貧困の集中や地域特有の課題（例：子育て支援施設の不足、学習支援の機会の差など）がある可能性 【検討】地域特性に応じた施策の検討 ※地域区分の代替方法がある場合は削除
世帯人数	3	お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。※あなた自身のごとも含め、対象のお子さんからみた関係で回答してください。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			【目的】世帯構成および世帯人数を把握 【検討】世帯収入に対する子どもの割合や子育ての担い手の有無、世帯の経済的・精神的負担を分析 ※生活困難世帯の判定に使用します。
保護者の状況（年齢・婚姻・養育費等）	4	お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。※母親・父親それぞれについて選択してください。いない場合やわからない場合は空白にしてください。			【目的】子どもの家庭環境および親の状況を把握 【仮説】親の年齢、単身赴任の有無、婚姻状況、養育費の受け取り状況は、子どもの生活の安定性や世帯の経済状況に影響を与える可能性 【検討】養育費確保支援等の施策を検討
		（1）母親	1. 30歳未満 2. 30～34歳 3. 35～39歳 4. 40～44歳 5. 45～49歳 6. 50～54歳 7. 55～59歳 8. 60歳以上		
		（2）父親	1. 30歳未満 2. 30～34歳 3. 35～39歳 4. 40～44歳 5. 45～49歳 6. 50～54歳 7. 55～59歳 8. 60歳以上		
	5	お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）	1. お子さんの母親が単身赴任中 2. お子さんの父親が単身赴任中 3. その他（ ） 4. 単身赴任中の者はいない		
	6	お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。（あてはまるもの1つに○）	1. 結婚している（再婚や事実婚を含む） 2. 離婚 3. 死別 4. 未婚 5. わからない 6. いない		
	6a	前の質問（設問番号6）で「2. 離婚」を選んだ場合、離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。 また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 取り決めをしており、受け取っている 2. 特に取り決めはしていないが、受け取っている 3. 取り決めをしているが、受け取っていない 4. 取り決めをしておらず、受け取っていない		
家庭で使用している言語	7	ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 日本語のみを使用している 2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語のほうが多い 3. 日本語以外の言語を使うことが多い		【目的】外国にルーツを持つ家庭の存在と家庭内で使用される言語を把握【検討】多文化共生の観点から、必要な支援（例：多言語での情報提供、日本語学習支援など）の検討
保護者の学歴と就労状況	8	お子さんの親の最終学歴（最終の卒業した学校）をお答えください。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			【目的】親の最終学歴や就労状況を把握 【仮説】学歴や雇用形態は世帯収入に大きく関わる可能性 【検討】あわせて就労できない理由を確認することで、就労支援や医療・介護支援等の複合的支援策を検討
		（1）母親	1. 中学 2. 高校 3. 専門学校 4. 5年制の高等専門学校 5. 短期大学 6. 大学 7. 大学院 8. その他（ ） 9. わからない 10. いない		
		（2）父親	1. 中学 2. 高校 3. 専門学校 4. 5年制の高等専門学校 5. 短期大学 6. 大学 7. 大学院 8. その他（ ） 9. わからない 10. いない		
	9	お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			
		（1）母親	1. 正社員・正規職員・会社役員 2. 嘱託・契約社員・派遣職員 3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 4. 自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む） 5. 働いていない（専業主婦/主夫を含む） 6. わからない 7. いない		
		（2）父親	1. 正社員・正規職員・会社役員 2. 嘱託・契約社員・派遣職員 3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 4. 自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む） 5. 働いていない（専業主婦/主夫を含む） 6. わからない 7. いない		
	9a	前の質問（設問番号9）で「5. 働いていない（専業主婦/主夫を含む）」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			
		（1）母親	1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2. 子育てを優先したいため 3. 家族の介護・介助のため 4. 自分の病気や障害のため 5. 通学しているため 6. その他の理由（ ）		
		（2）父親	1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2. 子育てを優先したいため 3. 家族の介護・介助のため 4. 自分の病気や障がいのため 5. 通学しているため 6. その他の理由（ ）		
未就学児の教育・保育の利用状況	10	お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）	1. 認定こども園・認可幼稚園・認可保育所 2. その他の教育・保育等の施設 3. 親・親族以外の個人 4. もっぱら親・親族が面倒を見ていた 5. その他（ ）		【目的】幼児期の教育・保育サービスの利用実態を把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある場合、施設利用に影響を及ぼす可能性 【検討】無償化施策の効果や、貧困家庭でも利用しやすい支援のあり方を検討
	11	お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）	1. 認定こども園・認可幼稚園・認可保育所 2. その他の教育・保育等の施設 3. 親・親族以外の個人 4. もっぱら親・親族が面倒を見ていた 5. その他（ ）		

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討
子どもの学習・体験活動	12	お子さんは現在塾に行ったり、習い事をしていますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 学習塾 2. 家庭教師 3. 通信教育 4. 英会話、そろばんなどの勉強の習い事 5. 絵画、音楽、習字などの芸術系の習い事 6. 野球、サッカー、水泳などのスポーツの習い事 7. その他（ ） 8. 塾や習い事をしていない 9. 答えたくない	独自	【目的】 子どもの学習機会や体験活動の状況を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、塾や習い事などに影響を及ぼす可能性 【検討】 放課後学習支援や無料・低額な体験機会の提供などの施策の検討
子どもの食生活	13	お子さんのご家族は1週間にどれくらい朝食を食べますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）	1. 食べること(食べる者)が多い 2. 食べないこと(食べない者)が多い 3. 家族により異なる 4. わからない	独自	【目的】 子どもの食生活の実態を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、食生活や家庭内のコミュニケーションに影響を及ぼす可能性 【検討】 子どもの健康状態や学習への影響を検討
	14	お子さんは、夕食を誰と食べることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）	1. 父親 2. 母親 3. 祖父母 4. 叔父・叔母などの親族 5. 子どものみ 6. ひとりで 7. その他（ ） 8. ほとんど食べない	独自	
親子の健康状態	15	お子さんの健康状態は次のうちどれにあてはまりますか。（あてはまるもの1つに○）	1. よい 2. まあよい 3. 普通 4. あまりよくない 5. よくない	独自	【目的】 親子双方の健康状態を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、健康状態に影響を及ぼす可能性 【検討】 子どもの健康状態への支援を検討
	16	あなたの健康状態は次のうちどれにあてはまりますか。（あてはまるもの1つに○）	1. よい 2. まあよい 3. 普通 4. あまりよくない 5. よくない	独自	
親子間のコミュニケーション状況	17	あなたは、お子さんとよく会話をしますか。（あてはまるもの1つに○）	1. している 2. どちらかといえば、している 3. どちらかといえば、していない 4. していない 5. どちらともいえない	独自	【目的】 親子間のコミュニケーションの状況を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、子どもの精神的安定や自己肯定感に影響を及ぼす可能性 【検討】 親向け講座等の施策の検討
	18	お子さんとの会話で多い内容はどれですか。（あてはまるもの1つに○）	1. 宿題や学校のこと 2. 進路や将来のこと 3. 友人や人間関係のこと 4. 趣味や習い事のこと 5. 家族のこと 6. 特に会話はな 7. その他（ ）	独自	
	19	お子さんとのかわり方の中で家庭で心掛けていることについて教えてください。（あてはまるものすべてに○）	1. 規則正しい生活習慣を身につけさせること 2. 毎日、朝食（または食事）を食べてもらうこと 3. 勉強や成績のことについて話すこと 4. 本や新聞を読むよう勧めること 5. 進路や将来について一緒に考えること 6. 学校での出来事について話を聞くこと 7. 悩みを聞き、相談に乗ること 8. ほめること 9. その他（ ） 10. 特に心掛けていることはない	独自	
経済的理由による体験	20	お子さんと次のことをすることがありますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）		独自	【目的】 「剥夺」の実態（例：誕生日祝い・旅行・習い事等）を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、様々な体験に影響を及ぼす可能性(体験格差) 【検討】 体験活動や経済支援の必要性を検討
		（1）お誕生日のお祝いをする	1. ある 2. ない		
		（2）一年に1回以上家族旅行に行く	1. ある 2. ない		
		（3）クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげる	1. ある 2. ない		
		（4）学校行事に参加する	1. ある 2. ない		
		（5）地域の行事、お祭り、イベントに参加する	1. ある 2. ない		
		（6）キャンプ、登山、海水浴、ウィンタースポーツなどの自然体験	1. ある 2. ない		
		（7）スポーツの観戦や体験をする	1. ある 2. ない		
		（8）農業体験や職業体験、ボランティアなどの社会体験	1. ある 2. ない		
		（9）動物園、水族館、博物館、美術館に行く	1. ある 2. ない		
保護者の生育環境	21	あなたが子どもの頃についてお尋ねします。（あてはまるものすべてに○）		独自	【目的】 保護者の生育環境を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、世代間連鎖が生じている可能性 【検討】 家庭への支援の必要性を検討
		（1）子どもの頃、保護者はあなたにどのように接してくれましたか。	1. 一緒に遊んだり、楽しい時間を過ごしてくれた 2. 私の気持ちや意見を尊重してくれた 3. 良いことをすると褒めてくれた 4. 困ったことがあると相談に乗ってくれた 5. 1～4以外で肯定的に接してくれたことがあった 6. あてはまるものはない 7. わからない・答えたくない		
		（2）子どもの頃、保護者との関係でつらいと感じたことはありますか。	1. 自分の不安や苛立ちをぶつけれた 2. やらなければならないことを何度も言われた 3. さょうだいや他者と比べられた 4. 存在を無視されたり、関心を持ってもらえなかった 5. 1～4以外でつらいと感じたことがあった 6. あてはまるものはない 7. わからない・答えたくない		
家庭での学習支援とメディアとの関わり	22	あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			【目的】 家庭内での学習支援やメディア利用への関わり方を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、子どもの学力形成や学習意欲に影響を与える可能性 【検討】 家庭学習支援のあり方を検討
		（1）テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
		（2）お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
		（3）お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
		（4）お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1. あてはまる 2. どちらかといえば、あてはまる 3. どちらかといえば、あてはまらない 4. あてはまらない		
保護者の学校・地域活動への参加状況	23	あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			【目的】 親の学校行事・地域活動への参加状況を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、孤立や情報格差がある可能性 【検討】 参加しやすい支援の検討
		（1）授業参観や運動会などの学校行事への参加	1. よく参加している 2. ときどき参加している 3. あまり参加していない 4. まったく参加していない		
		（2）PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1. よく参加している 2. ときどき参加している 3. あまり参加していない 4. まったく参加していない		
進路希望とその理由	24	お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 中学 2. 高校 3. 専門学校 4. 5年制の高等専門学校 5. 短期大学 6. 大学 7. 大学院 8. その他（ ） 9. わからない		【目的】 親が希望する子どもの進路を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、実現を妨げる要因（例：経済的不安）がある可能性 【検討】 進学費用支援や進路相談体制の整備の検討
	24a	前の質問（設問番号24）で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）	1. お子さんがそう希望しているから 2. 一般的な進路だと思うから 3. お子さんの学力から考えて 4. 家庭の経済的な状況から考えて 5. その他（ ） 6. 特に理由はない		
子の学校生活への関心	25	お子さんの学校生活の中で、あなたやお子さんが適応・対応するのが難しいことや不安なことはありますか。（あてはまるものすべてに○）	1. 起床時間 2. 勉強 3. 運動 4. 給食（アレルギー等） 5. 授業に集中する 6. 学校の決まりを守る 7. 集団への適応 8. 先生との関係 9. 友達との関係 10. 登下校の安全 11. 学校の防犯・防災対策 12. 放課後の居場所の確保 13. 長期休暇の過ごし方 14. 保護者同士の関係 15. 保護者の就労時間、働き方の調整 16. その他（ ） 17. 特にな	独自	【目的】 今現実子どもへの視点や関心を持っている点、保護者が障壁に感じている点を把握 【検討】 施策の方向性の検討

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討
子育てにおける精神的負担・ストレス	26	あなたが日常的に困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）	(子どもに関すること) 1. 子どもの健康や障がい 2. 子どもの学校生活や友人関係 (あなた自身に関すること) 3. 仕事（見つからない、きつい、人間関係など） 4. あなた自身の健康 5. 頼れる人がいない 6. 時間のゆとりがない (家庭に関すること) 7. 生活費や教育費 8. 家族・親戚関係 9. 住居や近所づきあい 10. その他（ ） 11. 特に困っていることはない	独自	【目的】 親の精神的負担やストレスの実態を把握 【検討】 子育て相談窓口の拡充やメンタルヘルス支援、家事・育児支援等の必要性を検討
	27	不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。（あてはまるもの1つに○）	1. よくある 2. 時々ある 3. ほとんどない 4. ない	独自	
保護者の相談先・つながりの有無	28	あなたは次に挙げるで頼れる人はいますか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			【目的】 保護者の社会的孤立の状況を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、相談相手や頼れる人がいない可能性 【検討】 地域コミュニティの強化や相談支援体制の見直しを検討
		(1) 子育てに関する相談	1. いる 2. いない		
		(2) 重要な事柄の相談	1. いる 2. いない		
	28a	前の質問（設問番号28）で「1. いる」と答えた場合、それはだれですか。（あてはまるものすべてに○）	1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. 近所の人 4. 職場の人 5. 民生委員・児童委員 6. 相談・支援機関や福祉の人 7. その他		
生活の満足度（主観的評価）	29	あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（あてはまるもの1つに○）	1. 大変ゆとりがある 2. ゆとりがある 3. ふつう 4. 苦しい 5. 大変苦しい		【目的】 保護者の主観的な生活満足度の把握 【検討】 生活の質（QOL）向上に向けた支援の方向性を多角的に検討
世帯収入	30	世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。（あてはまるもの1つに○）	1. 50万円未満 2. 50～100万円未満 3. 100～150万円未満 4. 150～200万円未満 5. 200～250万円未満 6. 250～300万円未満 7. 300～350万円未満 8. 350～400万円未満 9. 400～450万円未満 10. 450～500万円未満 11. 500～600万円未満 12. 600～700万円未満 13. 700～800万円未満 14. 800～900万円未満 15. 900～1,000万円未満 16. 1,000万円以上		【目的】 世帯の経済状況を把握 【検討】 相対的貧困率の算出や、支援対象の特定に不可欠な情報
滞納・欠乏経験	31	子育てで負担と感じる費用は何ですか。（あてはまるものすべてに○）	1. 給食費などの学校の諸経費 2. 辞書・習字道具などの教材購入費 3. 学校の部活動にかかる費用 4. 制服や体操服の購入費 5. 学習塾や習い事にかかる費用 6. ゲームやスポーツ用品の購入費 7. スマートフォンなどの通信料 8. バスや電車の交通費 9. 進学（高校、大学など）にかかる費用 10. 医療費 11. その他（ ） 12. 負担を感じるのはない	独自	【目的】 生活に必要な支出に関する困難さ（例：教育費、食費、公共料金の支払いなど）を把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、生活費に影響を及ぼす可能性 【検討】 困窮度の測定や生活支援策の必要性を検討
	32	あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（あてはまるもの1つに○）	1. よくあつた 2. ときどきあつた 3. まれにあつた 4. まったくなかった		
	33	あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（あてはまるもの1つに○）	1. よくあつた 2. ときどきあつた 3. まれにあつた 4. まったくなかった		
	34	あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、医療を受診しないことがありましたか。ただし、保険適用範囲について回答してください。（あてはまるもの1つに○）	1. よくあつた 2. ときどきあつた 3. まれにあつた 4. まったくなかった	独自	
	35	あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（あてはまるものすべてに○）	1. 電気料金 2. ガス料金 3. 水道料金 4. 携帯電話料金 5. あてはまるものはない		
行政からの情報入手手段と認知状況	36	あなたは子どもや子育てに関する情報をどのように得ていますか。（あてはまるものすべてに○）	1. テレビやラジオ番組 2. 子ども・子育て関連の本・雑誌（フリーペーパーを含む） 3. 子ども・子育て関連のサイトやブログ 4. SNS（他人の投稿など） 5. 学校からの情報 6. 家族や友人からの情報 7. その他（ ） 8. 特に情報を得ていない	独自	【目的】 行政施策の特定の情報だけでなく、子どもや子育て全般でどのように情報を入手しているかを把握 【検討】 生活に寄り添った支援制度の周知方法の改善と利用促進を検討
精神状態（K6指標）	37	次の（1）～（6）の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようにでしたか。（あてはまるものそれぞれ1つに○）			【目的】 親の精神的健康を客観的に把握 【仮説】 経済的理由や家庭の事情がある場合、不安や抑うつ兆候がある可能性 【検討】 心理的支援の必要性を検討
		(1) 神経過敏に感じた	1. まったくない 2. 少しだけ 3. ときどき 4. たいてい 5. いつも		
		(2) 絶望的だと感じた	1. まったくない 2. 少しだけ 3. ときどき 4. たいてい 5. いつも		
		(3) そわそわ、落ち着かなく感じた	1. まったくない 2. 少しだけ 3. ときどき 4. たいてい 5. いつも		
		(4) 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れないように感じた	1. まったくない 2. 少しだけ 3. ときどき 4. たいてい 5. いつも		
		(5) 何をするのも面倒だと感じた	1. まったくない 2. 少しだけ 3. ときどき 4. たいてい 5. いつも		
		(6) 自分は価値のない人間だと感じた	1. まったくない 2. 少しだけ 3. ときどき 4. たいてい 5. いつも		
生活への満足度	38	全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。（あてはまるもの1つに○）	0 まったく満足していない ～ 10 十分に満足している		【目的】 保護者の生活に対する主観的評価を多角的に把握 【検討】 生活の質向上に向けた支援施策を検討

項目	設問番号	設問内容	選択肢	備考	質問する目的→回答をもとに検討	
行政の支援制度の利用実態と課題	39	あなたのご家庭では、（１）～（５）の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。（あてはまるものそれぞれ１つに○）			【目的】行政の支援制度の利用実態と、利用しない理由（例：制度の認知不足、手続きの煩雑さなど）を把握 【検討】制度の周知・利用促進改善の検討	
		（１）就学援助	１．現在利用している ２．現在利用していないが、以前利用したことがある ３．利用したことがない			
		（２）生活保護	１．現在利用している ２．現在利用していないが、以前利用したことがある ３．利用したことがない			
		（３）生活困窮者の自立支援相談窓口	１．現在利用している ２．現在利用していないが、以前利用したことがある ３．利用したことがない			
		（４）児童扶養手当	１．現在利用している ２．現在利用していないが、以前利用したことがある ３．利用したことがない			
		（５）母子家庭等就業・自立支援センター	１．現在利用している ２．現在利用していないが、以前利用したことがある ３．利用したことがない			
	39a	前の質問（設問番号39）で「３．利用したことがない」と答えた場合、その理由は何ですか。（あてはまるもの１つに○）				
		（１）就学援助	１．制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから ２．利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから ３．利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから ４．利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから ５．それ以外の理由			
		（２）生活保護	１．制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから ２．利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから ３．利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから ４．利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから ５．それ以外の理由			
		（３）生活困窮者の自立支援相談窓口	１．制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから ２．利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから ３．利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから ４．利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから ５．それ以外の理由			
（４）児童扶養手当		１．制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから ２．利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから ３．利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから ４．利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから ５．それ以外の理由				
地域・民間の支援の認知と利用状況	40	次の支援制度などを利用したことはありますか。またそれらの支援制度などを知っていますか。（あてはまるものそれぞれ１つに○）		独自	【目的】民間団体や地域による支援の認知度と利用状況を把握 【検討】地域資源との連携強化や情報提供の在り方を検討	
		（１）子ども食堂 ※支援の説明文を追加	１．利用したことがある ２．利用したことはないが、知っている ３．利用したことなく、知らない			
		（２）地域子育て支援センター ※支援の説明文を追加	１．利用したことがある ２．利用したことはないが、知っている ３．利用したことなく、知らない			
		（３）集いの場「虹」、フリースペース「こもれび」 ※支援の説明文を追加	１．利用したことがある ２．利用したことはないが、知っている ３．利用したことなく、知らない			
		（４）子ども会や子育てサークル ※支援の説明文を追加	１．利用したことがある ２．利用したことはないが、知っている ３．利用したことなく、知らない			
		（５）子育て短期支援事業（ショートステイまたはトワイライトステイ） ※支援の説明文を追加	１．利用したことがある ２．利用したことはないが、知っている ３．利用したことなく、知らない			
	（６）ファミリー・サポート・センター ※支援の説明文を追加	１．利用したことがある ２．利用したことはないが、知っている ３．利用したことなく、知らない				
保護者が求める支援とその障壁	41	あなたが現在必要としていることや重要だと思う支援は何ですか。（あてはまるものすべてに○）	１．子どもの障がいや病気への相談や支援 ２．あなた自身の障がいや病気への相談や支援 ３．同じような悩みを持つ人との出会い ４．食費等の生活費の補助 ５．住居費の補助 ６．医療費の補助 ７．義務教育までの教育費の補助 ８．義務教育以降の教育費の補助 ９．余暇に使える費用の支援 10．家事や育児の手伝い 11．仕事のあっせん 12．保育（児童クラブを含む）の充実 13．無償の学習支援 14．その他（ ） 15．特にない 16．わからない	独自	【目的】保護者が求める支援や利用上の障壁を把握 【検討】個々の世帯が抱えるニーズを抽出し、きめ細かな支援策を検討	
	42	あなたが感じる支援を受けるにあたって支障となることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）	１．プライバシーを知られたくない ２．知らない人と出会うのに抵抗がある ３．支援を行っている場所が近所でない ４．申請に手間がかかる ５．誰に相談していいかわからない ６．利用に費用がかかる ７．利用する時間がない ８．利用条件が厳しすぎる ９．十分な情報がない 10．支援を受けることに抵抗がある 11．その他（ ） 12．特にない 13．わからない	独自		
子ども向け支援への利用意向	43	お子さんにとって、現在または将来的に、次のような支援があった場合、利用したいと思いますか。（あてはまるものそれぞれ１つに○）		独自	【目的】子ども向け支援に対する保護者の利用意向を把握 【検討】ニーズの高い支援の優先順位を検討	
		（１）保護者がいない時に子どもが安心して過ごす場所やサービスの提供	１．利用したい ２．どちらかといえば、利用したい ３．どちらかといえば、利用したくない ４．利用したくない			
		（２）生活や就学のための経済的な補助・援助	１．利用したい ２．どちらかといえば、利用したい ３．どちらかといえば、利用したくない ４．利用したくない			
		（３）進路や生活などについてなんでも相談できるところ	１．利用したい ２．どちらかといえば、利用したい ３．どちらかといえば、利用したくない ４．利用したくない			
		（４）仲間と出会い、共に自然体験や集団遊び等色々な活動ができる場所	１．利用したい ２．どちらかといえば、利用したい ３．どちらかといえば、利用したくない ４．利用したくない			
		（５）夏休み・冬休み・春休み期間中に子どもたちが自習できる場所	１．利用したい ２．どちらかといえば、利用したい ３．どちらかといえば、利用したくない ４．利用したくない			
		（６）地域において職場体験ができる場所	１．利用したい ２．どちらかといえば、利用したい ３．どちらかといえば、利用したくない ４．利用したくない			
	（７）子どものみで無料もしくは低料金で食事のできる場所の提供	１．利用したい ２．どちらかといえば、利用したい ３．どちらかといえば、利用したくない ４．利用したくない				
保護者の幸福度・心理的充足感	44	次の（１）～（２）の質問について、あなたはどのように考えていますか。（あてはまるものそれぞれ１つに○）		独自	【目的】保護者の幸福度や心理的充足感を総合的に把握 【仮説】経済的理由や家庭の事情がある場合、親子の心身に影響を及ぼす可能性 【検討】QOL向上に資する施策を検討	
		（１）ストレスがあっても、発散することができている	１．そう思う ２．少しそう思う ３．普通 ４．あまりそう思わない ５．思わない			
		（２）将来に対して希望を持っている	１．そう思う ２．少しそう思う ３．普通 ４．あまりそう思わない ５．思わない			